

2018年度 あいの風とやま鉄道 利用状況等

2019年6月14日
あいの風とやま鉄道(株)

2018年度(通年営業4年目)の、あいの風とやま鉄道の利用者数は全体で約1,511万人(前年比27.4万人、1.8%増)、1日当たりでは41,387人(前年比751人、1.8%増)でした。

これは、通年営業ベースでは、利用者数、1日当たり利用者数のいずれにおいても過去最高となり、特に1日当たり利用者数は初めて41,000人を超えました。

1 1日当たり利用者数

2018年度の1日当たりの利用者数41,387人は前年度を751人上回っているほか、年度事業計画の40,500人と比べると887人の増加となっています。

利用者の区別にみると、定期券利用者が30,278人で、うち通勤が14,030人、通学が16,248人となっており、定期外利用者は11,108人となっています。

それぞれの前年比の増減をみると、通勤が35人(0.3%)、通学が420人(2.7%)、定期外が295人(2.7%)増となっており、通学と定期外の利用者が大きく増加しています。

また、定期外については、ICカード利用者が前年度比21.3%の増加と、引き続き大きく増加しています。

この結果については、利用実態に即した増便や運転区間の延伸、1日フリー切符の当日販売などの利便性の向上策や、2018年3月に開業した高岡やぶなみ駅の開業効果等によるものと考えています。

表1 1日当たり利用者数等

区分	2018年度	2017年度	差引	増減比 %
利用者数 (千人)	15,106	14,832	274	1.8
1日当たり (人/日)	41,387	40,636	751	1.8
定期利用者	30,278	29,823	456	1.5
通勤	14,030	13,995	35	0.3
通学	16,248	15,828	420	2.7
定期外利用者	11,108	10,813	295	2.7
乗車券	7,952	8,211	▲258	▲3.1
ICカード	3,156	2,602	554	21.3

※一部端数処理あり

2 駅別乗車人員、駅間通過人員等

各駅の乗車人員数は、富山駅が12,270人、高岡駅が6,522人などとなっています。

また、通年営業1年目の高岡やぶなみ駅は、307人の乗車人数となっており、隣駅(高岡・西高岡駅)の減少分を除いても200人以上の乗車人数の増加となっています。

また、駅間の通過人員数は、富山駅・呉羽駅間が最も多く16,647人となっているほか、東富山・高岡駅間で1万人以上となっています。

前年度との比較では、乗車人数、駅間通過人数とも、多くの駅・区間で増加がみられますが、駅乗車人数では駅周辺開発が進んでいる富山駅の270人の増加が目立つほか、駅間通過人数では、増便した石動駅以東での増加が大きくなっています。

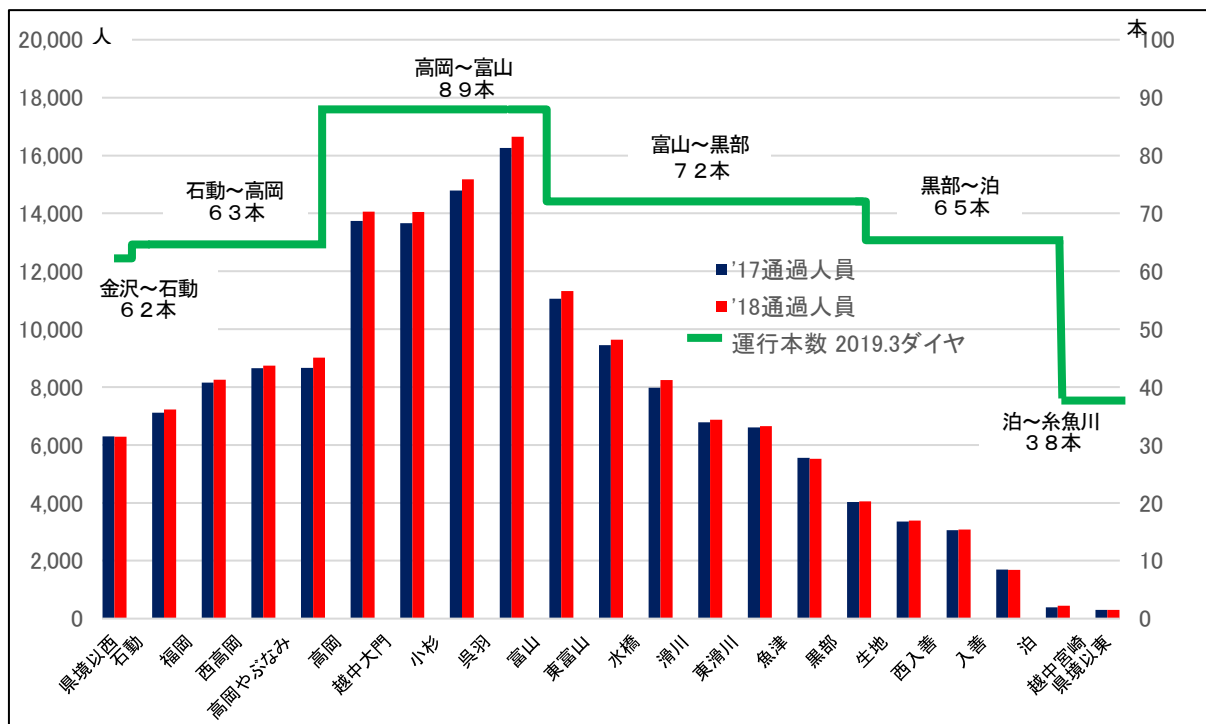
表2 駅別乗車人員数と駅間通過人員数(1日当たり)

(単位:人/日)

区間	乗車人員			通過人員				運行本数
	2018年度	2017年度	増減	2018年度	平均	2017年度	増減	
県境以西	3,189	3,154	35	6,289	6,289	6,298	△9	62
石動	1,557	1,527	30	7,221	7,994	7,116	105	63
福岡	1,004	1,011	△7	8,253		8,156	97	
西高岡	569	617	△48	8,739		8,657	82	
高岡やぶなみ	307	7	300	9,014		8,664	350	
高岡	6,522	6,544	△22	14,058		13,739	319	
越中大門	1,017	964	53	14,044	15,110	13,661	383	89
小杉	3,251	3,188	63	15,180		14,790	390	
呉羽	1,686	1,681	5	16,647		16,264	383	
富山	12,270	12,000	270	11,318		11,054	264	
東富山	1,433	1,394	39	9,634		9,449	185	
水橋	1,027	1,013	14	8,240	7,973	267	72	
滑川	1,439	1,426	13	6,876	6,784	92		
東滑川	170	155	15	6,648	6,607	41		
魚津	2,035	2,058	△23	5,526	5,552	△26		
黒部	1,381	1,360	21	4,056	4,031	25		
生地	466	463	3	3,382	3,357	25	65	
西入善	225	221	4	3,072	3,055	17		
入善	896	895	1	1,681	1,698	△17		
泊	709	745	△36	448	393	55		
越中宮崎	82	51	31	372	372	0		38
県境以東	154	164	△10	297	297	305	△8	38
合計/平均	41,387	40,636	751	7,680	7,680	7,540	140	

図1 駅間通過人数と運行本数

(単位 人/日・本数)



3 輸送人員の増減率

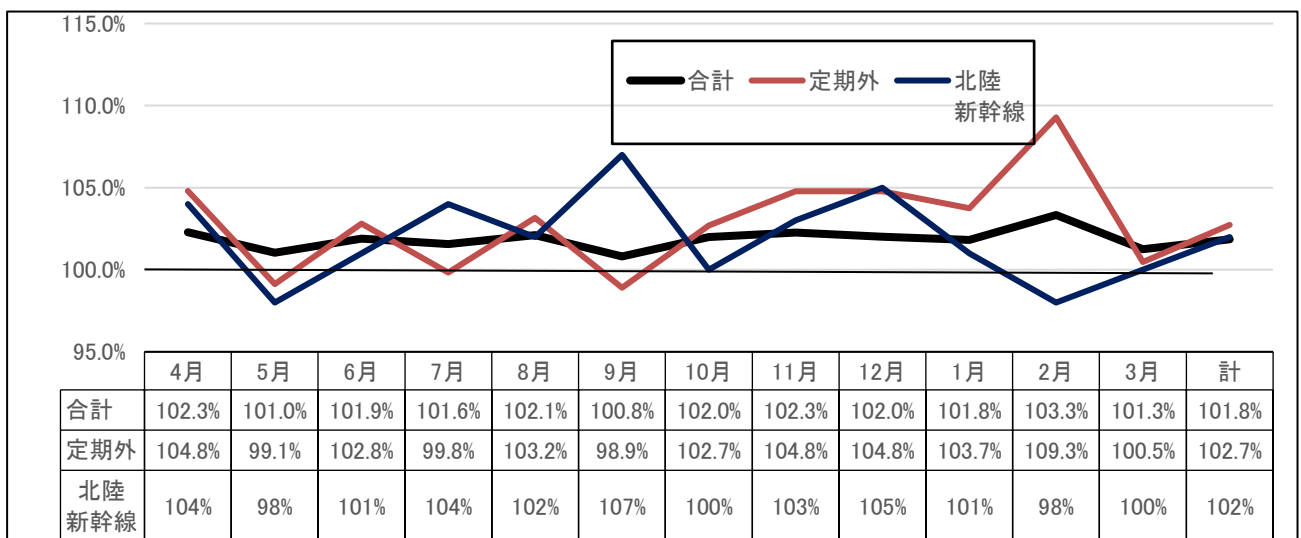
2017 年度との輸送人員の増減率をみると、利用者全体では全月とも前年度を上回っており、月間の変動率も小さくなっています。

定期外利用者の増減率は、これまで北陸新幹線の利用者増減率と連動する形となっていました。7月と9月には新幹線が大きく増える一方で当社線が減少、逆に2月は当社線利用者が大きく増加しています。

これは、7・9月は豪雨・台風等のため、関西方面等へのJR特急列車の運転取り止めが多かったことにより新幹線へ転移した利用者が多かったことや、当社線での一部の運転取り止めがあったことによるものであり、2月は前年度の大雪時の運転取り止めの反動によるものと考えられます。

図2 1日当たり輸送人員の増減率（2018年度/2017年度）

（単位 人/日）



4 運賃収益

2018 年度の運賃収入額は 29 億 5 千万円で、前年度に比べ 3 千万円を超える増加となっています。マルス売上手数料を含めた運輸収入全体では 30 億円に達しています。

増加の内訳としては、定期外が約2千万円、通勤・通学定期が約1千万円程度となっています。増加率では利用者数の増加が大きかった通学定期が2.8%増と最も大きくなっています。

通年営業を開始した 2015 年度以来の4年間の中では、北陸新幹線の開業効果等で定期外での収入が大きかった 2015 年度に次いで、2番目の収入額となっています。

表3 2018年度運賃収益額 等

(単位:千円)

区分		2018 年度	2017 年度	差引	比率 %	
旅 客 運 輸 収 入 (税 抜)	定期	通 勤	841,117	842,464	△1,347	△0.2
		通 学	466,184	453,671	12,514	2.8
		計	1,307,302	1,296,135	11,167	0.9
定期外	乗車券類	1,209,810	1,265,703	△55,893	△4.4	
	ICカード	434,767	358,939	75,829	21.1	
	計	1,644,577	1,624,642	19,936	1.2	
計		2,951,879	2,920,776	31,103	1.1	
マルス手数料		48,319	49,586	△1,268	△2.6	
合 計		3,000,198	2,970,363	29,835	1.0	